

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州安曇野田んぼアート実行委員会
事業主体 (連絡先)	信州安曇野田んぼアート実行委員会 (事務局：安曇野市観光交流促進課 電話 0263-71-2054)
事業区分	(7) 地域資源を活かした広域観光の推進
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	15,371,813 円 (うち支援金：5,000,000 円)

事業内容

新たな観光イベントとして、水田をキャンバスに見立てて色の違う稲で絵を描く「田んぼアート」を、安曇野スイス村周辺で行い、周遊滞在型観光の促進に向け、地域への誘客を促進する。2年目となった今年度は、主に以下の事業を実施した。

- ・1年目に設置した展望台や管理事務所の修繕
- ・展望台の入場管理や新型コロナウイルス感染症への対策などの会場管理
- ・シェアサイクルステーションの設置や周遊バスのバス停を設置し、自転車や公共交通機関で来場、周遊できる環境を整えた。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・緊急事態宣言の発令やお盆の豪雨により、想定していた数字には届かなかったが、コロナ禍でも3.5万人超の入場があり、地域への誘客効果があった。
- ・地元農家、農業事業者が実行委員となり、高校生やボランティアも延べ500人以上に協力いただき、協働の体制で地域活性化にも寄与できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当初の予定どおり今年度で事業終了。



【田んぼアート】

【目標・ねらい】

- ①新たなロングランの観光イベントを開催し、誘客を促進する。
- ②地元住民との協働で事業を行い、地域活性化に寄与する。

※自己評価【B】

【理由】

地域への誘客効果があり、周遊観光の促進も図られた。実行委員やボランティアで地域住民に協力いただき、地域活性化の効果も見られた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある